

この
うの
園



—町田の丘の都市型公園墓地—

東京多摩靈園通信

vol.6
2006年

都心から40分。 便利な交通アクセス

電車をご利用の方は.....

小田急線《鶴川駅》

京王相模原線《若葉台駅》が便利です。

●鶴川駅から神奈中バス停1番
(若葉台駅行：真光寺バス停下車徒歩8分)

●若葉台駅から神奈中バス
(鶴川駅行：真光寺バス停下車徒歩8分)

無料送迎バス運行(真光寺バス停より2分)

真光寺バス停から靈園まで、無料送迎バスを運行しております。お気軽にご利用ください。

運行日.....

- 土・日・祭日
 - 7・8月の盆(13日～16日)
 - 3・9月の彼岸(入り～明け)
- 年末・年始は運休



平成十八年 年回表

一般的に、追善のご法事は祥月命日かそれ以前の日取りで行うようにします。

神式(ねん祭)ですと、故人の誕生日か命日に行います。それぞれ節目となる年回は次の表でご確認ください。

ご法事(仏教)

| | |
|------|--------|
| 一周忌 | 平成十七年没 |
| 三回忌 | 平成十六年没 |
| 七回忌 | 平成十二年没 |
| 十三回忌 | 平成六年没 |
| 十七回忌 | 平成二年没 |

| | |
|-------|---------|
| 二十三回忌 | 昭和五十九年没 |
| 二十七回忌 | 昭和五十五年没 |
| 三十三回忌 | 昭和四十九年没 |
| 三十七回忌 | 昭和四十五年没 |
| 五十回忌 | 昭和三十二年没 |

年祭(神道)

| | |
|-----|--------|
| 一年祭 | 平成十七年没 |
| 三年祭 | 平成十五年没 |
| 五年祭 | 平成十三年没 |
| 十年祭 | 平成八年没 |

| | |
|------|---------|
| 二十年祭 | 昭和六十一年没 |
| 三十年祭 | 昭和五十一年没 |
| 五十年祭 | 昭和三十一年没 |
| 百年祭 | 明治三十九年没 |

《個人情報に関するお知らせ》

当靈園が保有する個人情報に関して、個人情報保護法の施行に伴い、ご案内申し上げます。当靈園では、墓地をご購入されたお客様の個人情報は、墓地の運営・管理並びに毎年当靈園の会報等を送付させて頂く目的にのみ利用させて頂きます。上記業務の委託を行なうため管理会社並びに配達会社に業務委託いたしますが、その他の第三者に無断で提供することは致しません。つきましては、上記内容に同意をされない時や送付を希望されないお客様は、下記管理事務所までお申し出下さい。

東京多摩靈園
宗教法人 末広行淨教会

〒195-0051 東京都町田市真光寺町203番地1 (開門9:00～閉門17:00)

お問い合わせ・お申し込みは—— 東京多摩靈園 管理事務所までお申し出下さい。

042-736-3111

靈園だより

ごあいさつ

東京多摩靈園をお使いの皆さまには平素より格別なご理解とご協力を賜り心から厚く感謝申し上げます。

皆さまの大切なご先祖靈が安らかに眠るこの町田の丘は、桜が爛漫と咲き誇る春、木々の緑がまばゆい夏、紅葉鮮やかな秋、静穏ただよう冬と四季折々の表情をみせる最良の聖地環境を呈しております。

私共、管理事務所一同はこの環境を維持し、皆さまを快くお迎えでありますよう業務に精励致して参ります。

なお、今号より管理事務所へ常備するのみの予定でありますたが、引き続き皆様のお手元にお届けさせていただくこととなりました。

末筆ですが、皆さまのご健勝とご幸運を心よりお祈り申し上げます。

23,000本の樹木が、訪れた方々をお迎えします。



日本庭園：お参り後は、お弁当などご家族ぐらんのひとときにぜひご利用ください。



ゆとりの車道：道幅6mの車道は、直接お車を墓所近くに付けられるよう配慮されています。



水場・手桶：お参りしやすいよう、墓所近く、園内各所に水汲み場を設けてあります。



生花販売：お彼岸・お盆には、墓前の献花にお花を販売しております。管理棟ではお線香もご用意しております。



園内通路：入り口から園内に300m続く並木道。四季折々の花木が風情を楽しませてくれます。



あずまや：園内に何カ所も点在するあずまやは、ご休息にご利用ください。



ロビー：お参りが済みましたらご休憩ください。お茶もご用意しております。



管理棟：常に職員が待機しておりますので、ご用の際はお気軽にお越しください。

園内お手洗い改築のお知らせ

平成18年1月10日より2月末まで、園内のお手洗いを改築いたします。この改築により新しく綺麗に整備されたお手洗いをご利用頂けるようになります。改築中はご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、管理棟内のお手洗いは引き続きご利用いただけます。

父と私。

ねじめ 正一（ねじめ しょういち）



私の父は五十七歳のとき脳溢血で倒れ、長い闘病生活を送ったあと平成一〇年二月二日八〇歳で亡くなつた。菩提寺は青山にある。貧乏暮らしが長かった父であるが、最後に入った墓地はねじめ家代々の墓とは言え都心の一等地というのが、何ともおかしい気がする。

私は父が三〇歳の貧乏盛りのときの子である。当時わが家は高円寺で乾物屋を営んでいた。家作は親戚の持ち物で、家賃を払つて借りていた。親戚ということではなく、店より安い家賃だつたが、それを払うと生活はキチキチだつた。六畳一間に親子四人で暮らしていた。夜寝るときはちやぶ台を折りたたみ、どけられるものはすべてだけて、私は母の方に足を向け、四歳下の弟は父の方に足を向けて寝た。マンガみたいだが、それが当時のわが家の——いや、わが家だけでなく下町にはよくある——暮らしだつた。

貧乏ということがわかり始めた年頃だから小学校三、四年のとき俳句が中心であつて、家族は二番目、三番目であつた。そんな父が五十歳近くになつて、俳句よりも素晴らしい人生であつた。

俳句が中心であつて、家族は二番目、三番目であつた。そんな父が五十歳近くになつて、俳句よりも素晴らしい商売に出会つた。乾物屋は嫌で嫌で母に任せつけないであつたが、民芸品屋は違つていた。「金は医者の治療代があればいいんだ」と言つていた父が俳句も辞めて、乾物屋も辞めて、民芸品屋を開業したのだ。



ひとくちメモ

寿陵【じゅりょう】

生前にお墓を購入することを、「寿陵」と言い、古来よりおめでたいこととされています。これは、日本のお墓のルーツが「仏塔」だったことに由来しています。お墓の準備は仏塔を建てる事でもあり、「生前に仏事を修める」という縁起の良い意味があります。

現在では、善き旅立ちを願う仏塔というより、思い出の碑としての意味の方が強く、思いにかなつたお墓にしたいといふ気持ちから寿陵を考える方が多くなりました。いずれにせよ、お墓は一生以上の財産です。受け継いでゆく方々にとっても、心やすらぐものを遺したいものです。

カッコイイと思えてきた。父はまさしく言葉通りの生き方をしていた。お金を稼ぐよりも自分のやつている俳句が自分の人生であつた。

父は医者の治療代があればいいんだ」と言つていた父が俳句も辞めて、乾物屋を手伝つた。父を見ていると、売り上げが良かつた日はご機嫌であつた。売れなくなつてくると、物産展や物産館を回つて、新製品を見つけ出してきた。あの「金は医者の治療代があればいい」という言葉は父親の中に忘れつあつたほど商売が忙しくなつた。

民芸品屋を始めて父は働いた。俳句で遅れた分を取り戻そうと思えるほど毎日毎日働いた。私も大学も辞めて、父の民芸品屋を手伝つた。父を見ていると、売り上げが良かつた日はご機嫌であつた。売れなくなつてくると、物産展や物産館を回つて、新製品を見つけ出してきた。あの「金は医者の治療代があればいい」という言葉は父親の中に忘れつあつたほど商売が忙しくなつた。

「うちは何でこんなにお金がない」と訊ねたことがある。文句でなかつた。愚痴でもなかつた。ただわが家が貧乏な理由がわからなかつたから聞いてみただけで怒り出したのだ。

父は私の首根っこをつかみ、窓を開けて庭へ放り出した。平屋だから放り出されても死ぬことはないものの、こちらは子どもである。体が持ち上がりたときは一瞬何が起きたのかわからなかつた。庭へすつ転がつたときもまだわからなかつた。ほっぺたを地面に押しつけたまま呆然としていたら、飼っていたクロという名の雑種犬がそばにきて私の顔をペロペロ舐めた。

それで初めて何が起きたのかわからり、ついで顔が地面にぶつかつたが、父は意外に落ち着いていた。リハビリでがんばつてもある以上、回復してこなかつた。

でも、父は絶望感を感じていなかつた。それこそ俳句を再び書き始めてたり、菩提寺であるお寺の住職さんに手紙を書いたりして、日々を過ごしていた。住職の教えを理解して、麻痺していく杖を使つて、お寺に出かけ、住職と話したり、お墓参りをした。自分がどこから生まれてきてどこへいくのかという問いかけに少しでも答えを出そうとしていた。

父は倒れてから菩提寺に通うことが多くなつた。父と墓参りしながら父もこの墓に入つて、自分の人生のよりどころを求めていたようだ。この私も父が倒れた同じ歳の五十七歳になつた。父の五十七歳のときの写真と私の五十七歳の写真を比べると、父のほうが貴重がある。

この私も墓参りが年々増えてきた。私の墓参りは自分を捨てきれないのだ。仕事のことばかりが気になつて、「いい作品が書けるように」と父に手を合わせ、お願いしないのだと。それでも父が私に「金は医者の治療代があればいいんだ」と言つたように私も自分の子どもに印象ある言葉をきちんと残しているだろうか。

ねじめ 正一 ねじめ しょういち

作家・詩人。1948年東京高円寺生まれ。

昭和56年、処女詩集「ふ」で詩壇の芥川賞と呼ばれるH氏賞を受賞。平成元年、初の小説「高円寺純情商店街」で101回直木賞受賞。平成16年には第15回ひろすけ童話賞を受賞。野球への造詣が深く、特に長嶋茂雄氏に関する著書も多い。代表作に、詩集「ひとりぼっち爆弾」、小説「熊谷突撃商店」「シーボルトの目」、絵本「ぎゅうぎゅうかぞく」「そらとぶこくばん」「さんぼうた」「わがまいまうと」など。

ご法事について

礼拝堂・会食室のご利用の際はご予約をお願いします。

皆さまにお使いいただける礼拝堂・会食室をご用意しています。ご利用の際は、早めにご予約をお願いいたします。お食事のご注文は一週間くらい前までに。人數等の多少の変更は前日の午前中までお受けいたします。



礼拝堂使用料 (使用時間45分)
1ルーム(約25名)……10,500円
追加1ルーム……… 5,250円
※消費税込み



会食室使用料 (使用時間1時間30分)
1ルーム(約10名)…… 5,250円
2ルーム(約20名)……10,500円
3ルーム(約30名)……15,750円
※消費税込み

各宗派のご法事をお世話いたします。

当園は宗旨・宗派に関わりなくご利用いただける霊園です。皆さまのお付き合いされているお寺様など、どなたでもお出入りしていただけますが、お近くにお心当たりの寺社のない方々には、当園でご法事のための各宗派寺社の僧侶をご紹介いたします。管理事務所までお問い合わせください。

ご法事 諸費用ご案内

| | |
|----------------|---------|
| 埋葬料 | 35,000円 |
| 墓前追善供養ご準備 | |
| 仏式 経机一基(清掃料含む) | 15,750円 |
| 神式 祭壇一基(清掃料含む) | 21,000円 |

※消費税込み

手続きのお願い

住所変更されたとき、墓所を継承されたときなどは、所定の手続きが必要になります。早めに管理事務所にご連絡いただきたいようお願いいたします。

① 住所変更(表示・本籍地も含む)/氏名変更されたときはすぐお届けください。(そのままですと、お知らせなどが届きにくくなります)

② 用意いただくもの

■ 使用承諾証書

■ 承継者の戸籍謄本及び住民票各一通
■ 認め印

③ その他

主な手続きに關し、ご案内申し上げました。お留め置きください。
お書き換えをしてください。
お声をかけてください。
詳しいしきたりなどについては、こちらでご説明申し上げます。法要のご手配、改葬・分骨などのご相談も承ります。なお、お手続きの際には事務手続料を申受けます。

④ 用意いただくもの

■ 使用承諾証書

■ 認め印

⑤ その他

主な手続きに關し、ご案内申し上げました。お留め置きください。
お書き換えをしてください。
お電話でも結構です。ご用向きの際は管理事務所までお声をかけてください。
詳しいしきたりなどについては、こちらでご説明申し上げます。法要のご手配、改葬・分骨などのご相談も承ります。なお、お手続きの際には事務手続料を申受けます。

お気軽に、管理事務所までどうぞ。

東京多摩靈園では、管理の行き届いた気持ちのよい靈園を皆さんにご利用していただくことを願っております。皆さんにご不便の無いよう、管理事務所には職員が常駐しておりますので、お気軽にお声をおかけください。お参りの後などには、ゆっくりしていただけるようお茶のご用意もございます。また、各種お手続きや、ご法事のお手配などはお電話でもお受けしております。こちらもお気軽にご利用ください。

園内での ご注意

- カートは必ず運転免許証をお持ちの方が運転してください。
- 園内及び駐車場内に於ける事故、盗難等のトラブルは一切責任を負いません。
- 墓所までの歩道は、桜の根が張りインターロッキングを持ち上げているため、歩きにくくなっていますのでご注意ください。
- 塔婆は建立後3年経過しましたら、自動的に下げてお焚上げ致します。そのままにされる場合は管理事務所までご一報ください。